

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2018年6月）

### 1 統計関連

- 2018年6月のインフレ率は年率で1.45%（前月1.33%）（7月4日付統計局プレスリリース）
- 2018年5月の失業率は5.6%（前月5.6%，前年同月5.9%）（6月20日付統計局及び職業安定所プレスリリース）
- 2018年6月の消費者信頼感指数は+14（前月+14）（6月28日付統計局プレスリリース）
- 当国労働省によれば、外国からの派遣労働者（posted worker）は47%増加した。2017年にはおよそ12万人が当国において派遣労働者として雇用され、うち68,373人がドイツ出身、15,457人がベルギー出身、13,558人がポーランド出身、そして5,647人がフランス出身であった。全体では3,608社が派遣労働者を雇用しており、前年比で31%増となった。なお、業種別では、建設業が44.5%、製造業が23%、交通業が14%を占めていた。（6月3日付 Luxembourg Times 紙）
- 欧州知的財産庁（the European Union Intellectual Property Office, EUIPO）によれば、当国は偽造ブランド製品により、毎年およそ9000万ユーロの損失が発生し、これまでに380の雇用が失われている。当国で偽造されている製品の上位5品目は、服飾、化粧品、ワイン及び酒類、医薬品、ハンドバッグである。EUIPOは、偽造ブランド製品によって当国の服飾業界において、年間およそ4400万ユーロの損失、ハンドバッグ業界では500万ユーロの損失となっていることを明らかにした。なお、偽造ブランド製品による損失はEU全体では600億ユーロとなっており、全売上総額の7.5%程度である。（6月7日付 Luxembourg Times 紙）
- 当国統計局によれば、当国の労働人口のうち19.6%がパートタイム雇用である（EU平均は19.4%、EU全体で15から64歳の間では4300万人がパートタイムで雇用されている）。当国男性労働人口のうちパートタイム雇用の労働者が6.1%、女性労働人口のうちパートタイム雇用の労働者は35.3%である。非自発的にパートタイム雇用となっているのは13.4%（EU平均26.4%）。（6月8日付 Luxembourg Times 紙）
- 当国政府の2017年決算は、当初予算で8億5090万ユーロの赤字とされていたが、2億9300万ユーロの赤字で確定し、5億5790万ユーロの上振れとなった。これは2017年1月に実施された税改革による顕著な税収の増加による。（6月22日付 Chronicle.lu）

### 2 政府等関連

- 1日、スタートアップ企業の支援を担う総合施設「Luxembourg's House of Start Ups」

(H O S T) が開業。記念式典には大公同妃両殿下、シュナイダー副首相兼経済相、グラマーニャ財務相が出席。商工会議所を母体とするH O S Tの施設内には、半官半民のフィンテック支援組織 LHoFT, ルクセンブルク市営のインキュベーション施設 (L C I), 官民パートナーシップによる気候変動対策推進団体 (I C F A), その他民間のインキュベーション施設が同居。(2日付 Luxembourg Times)

● 2024年に Kirchberg に完成予定の欧州委員会の新しいオフィスは、総工費約5億2600万ユーロで、18万9千平方メートルの広さ。欧州委員会が提供するサービスの多くを一カ所にまとめることができる。また、3000人以上の従業員に住宅を提供する事にもなる。この建物は2024年に完成予定であり、6階建てのメインとなる建物と22階建てのタワービルが隣接する予定。以前のオフィスはアスベストが原因で、4年前に Kirchberg と Cloche d'Or の二カ所に移転している。(6月4日付 Luxembourg Times 紙, Chronicle.lu)

● 11日から12日にかけて独語圏の環境大臣会合(当国, ドイツ, オーストリア, スイス, リヒテンシュタインの5か国)が当国にて開催され、原子力発電の削減について話し合った。当国, ドイツ, オーストリアは欧州原子力共同体(EURATOM)条約の改正に賛成である。当国のディシュブール環境大臣は EU 内における原子力技術への財政補助を全て無くしたいと考えている。(6月13日付 Luxembourg Wort 紙)

● 公共事業省によれば、2017年12月1日に結ばれた、電車での移動を促進する当国・ベルギー間の合意にもとづくプロジェクトは、成功している。同合意はルクセンブルクとベルギーの21の駅間の運賃を下げる事にあり、これによるベルギー国鉄の収入の減少は当国政府によって補われている。ベルギー側はルクセンブルクの国境付近における地域での駅近くの駐車場(P+R)の充実化を進め、2017年12月1日以降はアーロン地域ではおよそ利用率の20%の上昇が見られ、755台のキャパシティのうち95%が利用されている。また、同駐車場の利用者のうち、2人に1人は新規利用者である。(6月19日付 Chronicle.lu)

● 20日、アラブ首長国連邦 Obaid Humaid Al Tayer 財務大臣がルクセンブルクを訪問。グラマーニャ財務相と会談し、税務に関する国際的な透明化・情報交換のプロセス等について議論。また Al Tayer 大臣は、当国の fintech プロモーション組織 LHoFT を訪問。(6月20日付 Chronicle.lu)

● 欧州委員会は、欧州高性能コンピューターネットワーク(Europe High Performance Computing Project, Europe HPC)の実施に伴って、当国に同プロジェクトの合同本部(EuroHPC Joint Headquarters)を設立することを決定した。(6月26日付 Luxembourg Times 紙, Chronicle.lu)

● 2023年に、当国南部 Esch-sur-Alzette 市にできる予定の新しい病院は、総工費約5億4200万ユーロ、583人の患者を受入れ可能。建築工事は2019年に開始し、病院施設のほかに、がんセンター、リハビリセンターの役目も持つ予定。(6月29日付

### Luxembourg Times 紙)

● 当国とフランスの **Grand Est** 地域における、医療面の協力体制を可能にする法案が、当国国民議会で可決された。一方の国の緊急サービスが利用不可能になった際に、他国のサービスをできるだけ早く利用する事を可能とする法律である。なお、このような越境協力は、今まで当国とグランドリージョン間では警察の面で何年にもわたって行われてきている。(6月29日付 **Luxembourg Times** 紙)

### 3 企業関連

● ルクセンブルク大学が宇宙資源開発に特化した修士課程を、2019年度から始める予定。この新しい修士課程は主に宇宙技術に着目し、修了した学生が当国の宇宙資源開発産業に従事する事を期待している。なお、同大学では現在既に宇宙、通信、メディア法に関する2年の修士課程が存在している。(6月4日付 **Luxembourg Times** 紙)

● **SpaceX** 社は本年11回目のロケット打ち上げで、**SES** 社の人工衛星 **SES-12** を搭載した。この衛星により、アジア太平洋および中東エリアで動画やデータの通信ができる用になる。**SpaceX** 社は本年30回の打ち上げを予定しており、これは前年の18回に比べて大幅な増加だ。(6月4日付 **Luxembourg Times** 紙)

● イギリスの保険企業 **RSA** が **Brexit** に備えて当国に子会社を創った件に関して、当国の保険監督局 (CAA) からの認可を得た。**RSA** 社の当国への進出によっておよそ250の雇用を創り出す事となる。(6月4日付 **Luxembourg Times** 紙)

● 中国銀行の当国支店は、他の10行の国際銀行とともに8億9000万ユーロ規模のシンジケートローンを組んだ。当初5億ユーロであったところが、2倍の規模で購入された、としている(6月11日付 **Luxembourg Times** 紙)

● **Luxair** 社は、2018年10月28日より、ウィーン (月一金)、パリ (月一日)、ミラノ (月・水・金) 便を増便することを決定した。また、同日より、ダブリン行きの便を日曜日の朝に一便追加すること、現在のボンバルディア **Q400** だけでなく、ボーイング737系列の機体を使用することを決定。ルクセンブルク-ダブリンの便は週12便から13便へと増加する。(6月11日付 **Chronicle.lu**)

● デンマークのナノサテライト製造会社 **GOMspace** 社は「開発契約 (development contract)」として、当国の国家宇宙プログラム **LuxImpulse** から約150万ユーロの資金提供を受けた。この資金は欧州宇宙機構 (European Space Agency) から配分されており、**Mega-Constellations Operation Platform (MCOP)** の開発に使用される予定である。この開発は2020年の第1四半期に完了予定。(6月13日付 **Luxembourg Times** 紙)

● 当国金融監督委員会 (CSSF) はスイスの資金管理会社である **BlueOrchard** に UCITS のライセンスを発行した。(6月15日付 **Luxembourg Times** 紙)

● **LHoFT** は、ルクセンブルク大学の安全・信頼・信用に関する学際研究センター (SnT) 及び法律・経済・金融学部との間で **MoU** を締結した。今後金融サービス業界におけるニー

ズによりの確に答える事を目的としている。(6月19日付 Luxembourg Times)

● 当国国立貯蓄銀行 (BCEE) はバランスシート455億ユーロとなり、当国で最大の銀行となった。なお、仏系銀行である Societe Generale と、BGL BNP Paribas はそれぞれ4040万ユーロ、3840万ユーロと、BCEE に次いで2位、3位となった。Deutsche Bank は当国で最大の銀行あったが、3770万ユーロと、4位に下がった。(6月20日付 Luxembourg Times 紙)

● ルクセンブルク空港会社と中国東方航空の間で、当国と中国河南省鄭州市の鄭州新鄭国際空港を結ぶ航空旅客便の運航実現に向けて話し合いが行われている。中国東方航空側がルクセンブルクへの路線に興味をもっているとのこと。ただし、運航開始日程などの具体的な詳細は未定である。ルクセンブルク空港会社は、当空港からの新たな就航地として本件が実現すれば喜ばしいとしている。(6月21日付 Luxembourg Times 紙)

● ストラスブールをベースとした、官民一体型の技術会社である Ksilink 社とルクセンブルク大学の生命医学研究センター (LCSB) は、パーキンソン病を治療するための医薬品の開発において協力するという合意を結んだ。今後、この合意を元に、800万ユーロ以上、5年規模の官民パートナーシップのプロジェクトを行う予定。同プロジェクトの資金の一部は当国の国立研究基金 (National Research Fund, FNR) によって支援されている。(6月29日付 Chronicle.lu)

● スウェーデンの銀行である Landshypotek Bank によって、スウェーデンクローナ建てでは最大のグリーンボンド、そして世界初の森ボンド (forestry bond) が上場した。同ボンドは5億900万ユーロ相当であり、5年の期間で、林業における持続可能な発展と気候変動対策を支援する機関投資家を募るものである。(6月28日付 Luxembourg Times)

● 欧州委員会は仏国電力会社 Engie 社がルクセンブルク政府から「違法な税の優遇」を受けていたとして、1億2000万ユーロの追加納税を行うよう指示した。欧州委員会がルクセンブルクによる多国籍企業へのタックスルーリングを指摘したのはこれで3件目 (他には Amazon 社と Fiat 社)。(6月20日付 Luxembourg Times 紙)

#### 4 大臣等動向

● 4-6日 グラマーニャ財務相、金融ミッションを率いてチューリッヒ及びジュネーブ (スイス) を訪問。(6月4日付政府広報)

● 8-10日 グラマーニャ財務相、金融イノベーションに関するIMF会合に参加のため、スプリト (クロアチア) を訪問。(6月8日付 Chronicle.lu)

● 26-28日 グラマーニャ財務相、金融ミッションを率いてムンバイ (インド) を訪問。アジアインフラ投資銀行 (AIIB) 年次総会に出席、インド財務大臣、中央銀行総裁と会談等。(6月24日付 Chronicle.lu)

※当国政府機関の公開資料や各種報道などの公開情報をとりまとめたもの